

# 担い手通信

vol. 2

ninaitetsushin

先進事例情報

## ハウス暑熱対策

# 屋根散水お勧め

## 低コストで容易に設置

農研機構野菜花き研究部門などは、ビニールハウスやガラス温室の暑熱対策へ「屋根散水による施設内冷却技術マニュアル」を作成しました。特殊な部材を使わず低コストな屋根散水装置の設置方法や、イチゴとトマトへの屋根散水の効果などをまとめました。同機構のホームページで公開しています。ハウスの大きさにもよりますが、室温が3〜5度下がるとされています。

## 農研機構がマニュアル



天窓のないパイプハウスへの設置例(群馬県農業技術センター提供)

群馬県農業技術センターと栃木県農業試験場が協力してまとめました。屋根散水は、ビニールハウスやガラス温室の屋根に散水し、水の蒸発に伴って熱を奪い、施設内を冷やす

暑熱対策です。JAや資材店で売っている部材で設置できるため、コストを抑えられる上、設置も簡単なのが長所です。ビニールなど汚さないよう水質の良い水が必要で、曇雨天

では効果が低いといった課題もあります。マニュアルでは、天窓のないパイプハウスや単棟ハウスと、天窓があるガラス温室などの施設での設置方法を解説しています。天窓が

ない場合の資材は、住化農業資材の「スミサンスイR露地ワイド」、チューブフィルター、スクリーンニップル、ワンタッチストッパー、タカタのサニーホース(40mm径)、マイカー線の6種を使います。

設置の手順は、散水チューブを屋根頂上に固定する支持器具から作ります。サニーホースを7cm幅に切り、両側にパンチ穴を開け、マイカー線結びます。マイカー線の長さは、設置するパイプハウスの屋根頂上から地面までの半周分の長さ

と縛る余裕を持たせた程度にします。かん水チューブを通し、長さ2mごとに一つ付けます。

支持器具や散水チューブでハウスフィルムを傷つけないよう、不織布などの遮光資材でハウスを覆います。ハウス脇にロープを置いて、片側のマイカー線結び、ロープで散水チューブをハウス屋根頂上に移動させます。マイカー線をロープから外して、ハウスに固定し、散水チューブにストッパーなどを取り付けて完成です。

(日本農業新聞 2020年6月10日)

「根圏制御栽培法」仕立ての新たな選択枝  
ニホンナシで「3年成り仕立て」を開発

このコーナーは、三重県農業研究所の「研究成果情報」に基づき制作し、県内に広く研究成果を紹介しています。

県内のおよそ100haで栽培されるニホンナシ。一般的に苗を植えてから安定して収穫できるようになるまでに10年程度かかります。「根圏制御栽培法」は定植後2年で収穫可能で多収も見込める栽培法です。しかし根圏の仕立てでは、定植する苗の状態により主枝や結果枝の確保が難しい場合があります。そこで農業研究所では「3年成り仕立て」という新たな仕立て方法を開発しました。この仕立ては図のように手順をふみます。冬に1年生苗を定植して切り返し(図上左)、翌冬に2本を主枝として30度程度の角度に誘引します(図上中)。誘引した主枝を切り返し、定植2年目には、翌々年(定植3年目)の結果枝となる新梢(しんしょう)を発生させます(図上右)。結果、

主枝片側当たり14本程度の結果枝が安定して得られ、10a換算で約2.2t(植栽3年目)と既存の仕立てと同等の収量を確保することができました。この仕立てでは既存のものよりも収穫が1年遅れるため、既存の仕立てをベースとした上での選択枝の一つとしての活用が期待されます。なお、データは全て幸水のため、品種によっては本成果の結果と異なる可能性があります。本成果は生研支援センター実施の「革新的技術開発・緊急展開事業」を活用しました。

図：考案した仕立て方(3年成り仕立て)(上)と既存の仕立て方(下)

お問い合わせ先 生産技術研究室 地域連携研究課 ☎0598-42-6356  
中央農業改良普及センター ☎0598-42-6707

## JAバンク三重 専門家派遣事業

法人化 事業承継 労務管理

農業者の皆さまの悩みや課題を 専門家がサポートします

6次産業化 経営改善

「JAバンク三重専門家派遣事業」は、円滑な事業承継や経営の高度化を目指す農業者の皆さまの要請に応じ、専門的な知識や経験を有する専門家を派遣し、経営課題に応じた適切な診断・助言を行うことで、課題の解決を図り、皆さまの発展に資することを目的としています。ぜひ、ご利用ください。

実施期間 2020年4月1日 ~2022年2月28日

対象者

- 三重県内において農業を営む方および農業に従事する方
- 三重県内において農業を営む法人

★税理士や中小企業診断士などのプロがアドバイスを行います。  
★最大で5回、**無料**で専門家のサポートを受けることができます。

詳細については各JA担当者までご確認ください

農業経営資金

農業を営む すべての方を応援します!

農業経営に必要な資金として幅広くご利用いただけます。

負担軽減後金利 当初3年 年0.2% (変動金利)

【取扱期間】2020年4月1日▶2021年3月31日

※JAバンク利子補給制度によりお借入から3年後の応当日まで最大年1.0%の利子補給が受けられます。  
※JAバンク利子補給後の当初ご負担金利は0.2%を下回らないように調整されます。

詳しくはお近くのJAバンクまでお問い合わせください。  
<http://www.jamie.or.jp/jabanking/agri/> JAバンク 三重県下JA/JA三重信連